

医学生理学の国際大学生クイズ大会 PQJ2024(医学生理学クイズ日本大会 2024)開催報告

世界3カ国の大学から8チームが参加

2024年3月24日(日) 島根県出雲市にて開催

医学生理学の国際大学生クイズ大会、PQJ2024(医学生理学クイズ日本大会 2024)が、2024年3月24日(日)に島根大学(島根県出雲市)で開催されました。第8回となる今大会は、島根大学 PQJ2024委員会(代表 上田大輔)が主催し、世界3カ国から8チーム27人の大学生が英語で医学・生理学の知識を競いました。

激戦の末、スロベニアのリュブリャナ大学の「Metabolic Masters」が昨年に引き続き優勝を飾りました。また、開催校の島根大学チームは準優勝、札幌医科大学チームが3位に輝きました。

PQJ2024 結果

順位	大学	チーム名
1位	University of Ljubljana (Slovenia)	Metabolic Masters
2位	島根大学	Shimanekko family
3位	札幌医科大学	SMUth muscle
4位	東北大学	Babubabu medicine
5位	香川大学	UDON STORM



PQJ2024 参加者

PQJ2024(医学生理学クイズ日本大会 2024)について

PQJ(医学生理学クイズ日本大会。Physiology Quiz in Japan)は、毎年、日本の大学生が主催して行う大学生クイズ大会です。参加資格は大学生であることのみであり、学部・学年・所在国は問いません。クイズは全て英語で行われるため、世界中の大学生が参加し、生理学を中心とした基礎医学の知識を競い合いながら親睦を深めます。第8回目となる今大会は島根大学(島根県出雲市)の学生が主催しました。

【開催概要】

行事名：PQJ2024(医学生理学クイズ日本大会2024)

開催日時：2024年3月24日(日) 9:00~16:30

開催場所：島根大学医学部キャンパス(出雲キャンパス)

参加費：2000円(昼食費、懇親会費込み)

参加資格：大学生(学部・学年・所在国不問)

チーム編成：2~5名。同一大学から複数チーム参加可能

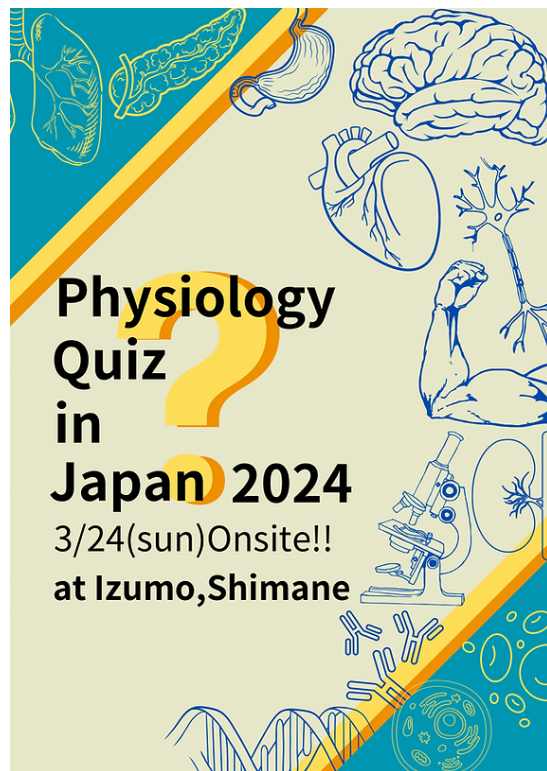
賞品：賞状、医学教科書(日本語/英語、紙/電子書籍)

主催：島根大学PQJ2024委員会

代表：上田 大輔(島根大学医学部)

後援：日本生理学会

公式ページ：www.pqj2024.com



PQJ2024公式ポスター

【参加チーム】

University of Ljubljana(スロベニア共和国)

東北大学

大阪医科薬科大学(2チーム)

香川大学

島根大学

札幌医科大学

UNIVERSITAS MUHAMMADIYAH MAKASSAR(インドネシア共和国)

合計 8チーム, 27人

【参加登録チームの所在国・地域】

日本、インドネシア共和国、スロベニア共和国(計3カ国)

PQJ (医学生理学クイズ日本大会)について

PQJの目的

医学・生理学は非常に重要であると同時に、本来とても面白いものです。しかし、医療職の資格取得のための勉強となると、孤独に、ひたすら砂を噛むような思いで知識を詰め込むことになりがちです。

PQJ(医学生理学クイズ日本大会)の目的は、参加者に次のような強烈的な学習体験をしてもらうことです。

- ① 思考の結果が、得点や失点として即座に表れる興奮を味わえる。
- ② 仲間と共に学習し、戦う喜びが味わえる。
- ③ 世界の大学生と競い合うことで、世界基準での自分の実力を把握することができる。
- ④ 一問ごとに問題解説があり、その場で学習することができる。

これらの体験を通じて得た医学・生理学の知識は、エピソード記憶として参加者の脳裏に深く刻まれます。その記憶は、医療資格取得の学習において彼らを助け、ひいては将来の医療現場で患者さんを救うことに繋がっていくでしょう。

PQJのクイズはすべて英語で行われます。英語は医療の世界での世界共通語であり、日本、世界の大学生に実践的な英語学習の機会を与えることも、目的の一つです。

最後に、世界の医療系大学生が集まる機会は、非常に少ないのが現状です。世界中から医療系大学生が集まり交流し、人脈を築いていけるような場を提供することも、PQJの重要な目的です。

大会形式

PQJのクイズは、早押しクイズやフリップクイズ等などで構成されます。出題範囲は生理学、解剖学、生化学、薬理学、免疫学、微生物学など基礎医学の広い範囲にわたります。予選、決勝を通じて最終順位が決定され、表彰が行われます。

大会中に親睦セッションが開かれ、世界各国の医療系学生が交流を深めることができます。



今大会(PQJ2024)大会中の様子



PQJ2024優勝 リュブリャナ大学(スロベニア)チーム

PQJの歴史

PQJは、IMSPQ(国際医学生生理学クイズ大会)を主催するCheng Hwee Mingマラヤ大学教授をアドバイザーとして、日本生理学会の後援を得て2016年に全国医学生生理学クイズ大会として創設されました。海外からの参加校を迎えた第2回大会(PQJ2017・大阪医科大学)からPQJ(Physiology Quiz in Japan)と名称変更を行い、その後、日本各地の大学をホスト校として大会が開かれてきました。

PQJ2020からはコロナ禍を受けてオンライン開催に移行し、広く海外からも参加チームを募集した結果、昨年度のPQJ2023では12カ国から125チーム、500人近くの学生が参加し、スロベニアのLjubljana大学と日本の東北大学のチームが同時優勝を飾りました。今回のPQJ2024は5年ぶりの現地開催であり、島根県出雲市にて、日本、スロベニア、インドネシアから計8チームが参加しました。

PQJ 歴代大会一覧

第1回全国医学生生理学クイズ大会

日時：2016年4月17日(日) 主催：岡山大学医学部 優勝校：鳥取大学

医学生生理学クイズ日本大会 2017 (PQJ2017)

日時：2017年4月16日(日) 主催：大阪医科大学(現大阪医科薬科大学) 優勝校：大阪大学

医学生生理学クイズ日本大会 2018 (PQJ2018)

日時：2018年5月19日(土)・20日(日) 主催：鳥取大学医学部 優勝校：防衛医科大学

医学生理学クイズ日本大会 2019 (PQJ2019)

日時：2019年5月26日(日) 主催：東京慈恵会医科大学 優勝校：防衛医科大学

医学生理学クイズ日本大会 2020 (PQJ2020)

日時：2021年3月7日(日) 主催：東京医科歯科大学(オンライン開催) 優勝校：University of the East Ramon Magsaysay(フィリピン共和国)

医学生理学クイズ日本大会 2022 (PQJ2022)

日時：2022年3月6日(日) 主催：国際医療福祉大学(オンライン開催) 優勝校：Can Tho University of Medicine and Pharmacy(ベトナム社会主義共和国)

医学生理学クイズ日本大会 2023 (PQJ2023)

日時：2023年3月26日(日) 主催：札幌医科大学(オンライン開催) 優勝校：東北大学(日本), University of Ljubljana(Slovenia)

医学生理学クイズ日本大会 2024 (PQJ2024)

日時：2024年3月24日(日) 主催：島根大学 優勝校：University of Ljubljana(Slovenia)

PQJ 事務局について

PQJ 事務局は、PQJ 開催経験者で構成された非営利組織であり、毎年 PQJ の開催を目的として、開催校 PQJ 委員会へのコンサルテーション・物品の貸与等が無償で行っています。

【PQJ 事務局概要】

団体名： PQJ 事務局(医学生理学クイズ日本大会事務局)

所在地： 京都府京都市山科区音羽珍事町 2 洛和会音羽病院医局内

事務局長： 井上鐘哲(洛和会音羽病院・医師)

事業内容： PQJ 開催校の選定と開催コンサルテーション、必要物品の貸与

設立： 2017 年

公式サイト： <http://plaza.umin.ac.jp/quiz/>

email: physiologyquiz@gmail.com

構成員：

井上鐘哲 医師 PQJ2017 代表 (事務局長)

岡田浩太郎 医師 PQJ2019 代表

岩田陽太 医師 PQJ2020 代表

工藤大樹 札幌医科大学医学部 6 年 PQJ2023 代表

問い合わせ先

PQJ2024

上田大輔(PQJ2024代表)

所属：島根大学医学部

住所：島根県出雲市塩冶町 8 9 1

email: pqj2024@gmail.com

PQJ 事務局

井上鐘哲(PQJ 事務局長)

所属：洛和会音羽病院 医局

住所：京都府京都市山科区音羽珍事町 2

電話: 080-3359-1355

email: inoue5000@gmail.com

個人サイト: kaneaki.net
